

# Ⅰ 結果の概要

## 第2次基本集計結果

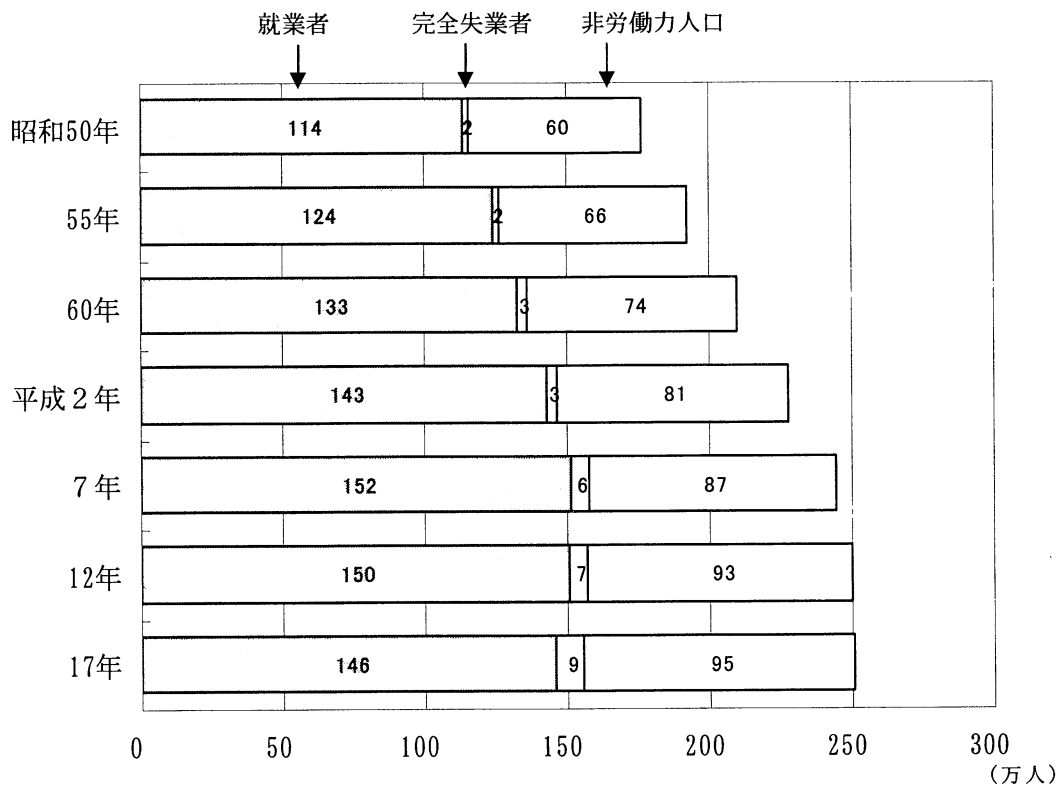
### 1 労働力状態

#### (1) 労働力状態別人口

平成17年10月1日現在の茨城県の15歳以上の人口は2,550,431人で、そのうち労働力人口(就業者及び完全失業者)は1,552,565人で、平成12年と比べ18,044人、率にして1.1%減少している。また、労働力率(15歳以上人口に占める労働力人口の割合)は62.0%で、平成12年より0.8ポイント低下している。

一方、非労働力人口(家事従事者、通学者、高齢者など)は952,811人で、平成12年と比べ20,920人、率にして2.2%増加している。(第1表、図-1)

図-1 労働力状態別15歳以上人口の推移(昭和50年~平成17年) ー茨城県ー



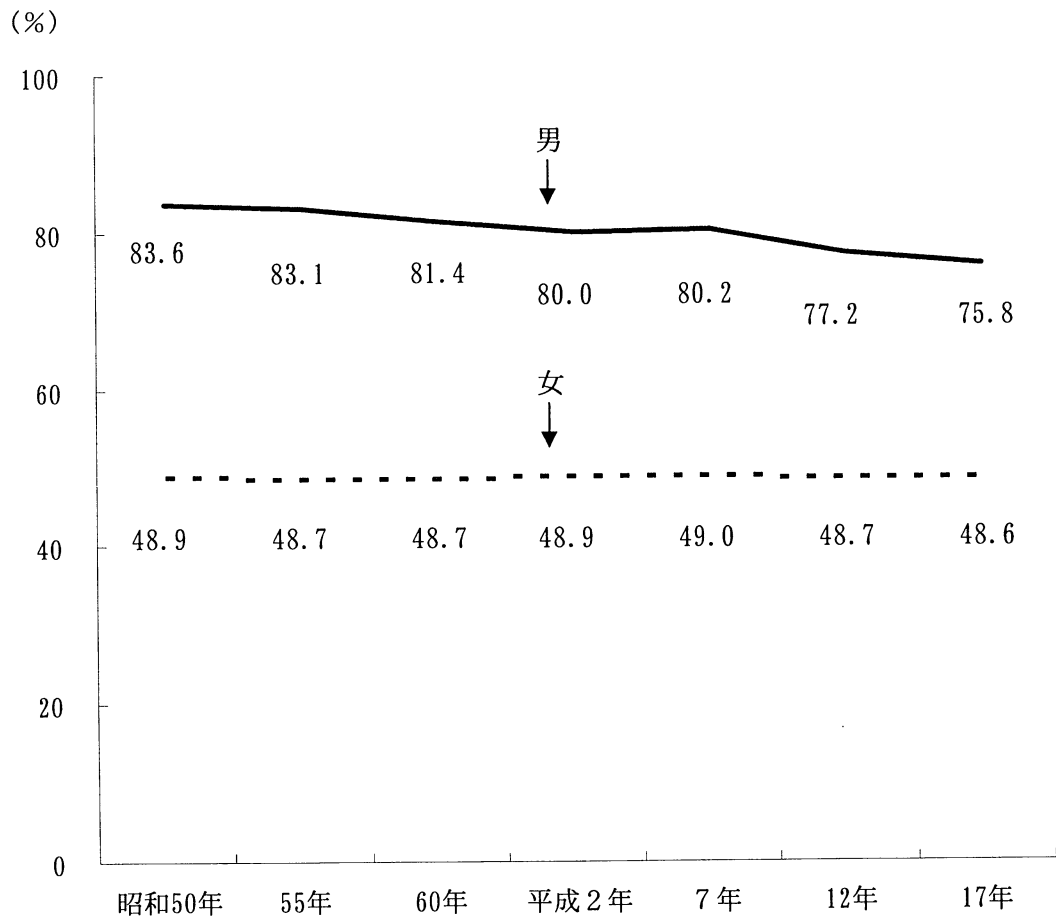
注) 労働力状態「不詳」を除く。

(2) 男女別労働力人口

労働力人口を男女別にみると、平成17年は男子が932,966人(労働力率75.8%)、女子が619,599人(同48.6%)で男子が約6割を占めている。平成12年と比べ、男子が2.2%の減少だったが、女子は0.5%の増加となった。

昭和50年からの労働力率の推移をみると、男子は減少傾向にあり、平成17年は昭和50年から7.8ポイントの減少となったが、女子は一貫して48~49%台となっている。(第1表, 図-2)

図-2 男女別労働力率の推移(昭和50年~平成17年) -茨城県-



(3) 年齢，男女別労働力率

年齢5歳階級別の労働力率をみると，男子は25～29歳から55～59歳までの90%台をピークに，若年齢層と高年齢層とでは低くなっており，女子は25～29歳の73.1%と45～49歳の73.6%を頂点とし，30代が62～63%台の谷となり，高年齢層にいくにしたがって低くなっている。(表-1)

労働力率の増減をみると，女性の25～29歳で4.3ポイント，30～34歳で6.6ポイント，35～39歳で3.2ポイントと高い増加となっている。

表-1 年齢(5歳階級)，男女別労働力人口，労働力率(平成12年，平成17年) -茨城県-

男女・年齢	平成12年		平成17年		労働力率増減 (ポイント)
	労働力人口(人)	労働力率(%)	労働力人口(人)	労働力率(%)	
男	953,825	77.2	932,966	75.8	-1.4
15～19歳	16,921	18.0	14,793	18.2	0.2
20～24	73,451	77.5	62,834	76.7	-0.8
25～29	108,746	95.7	89,896	95.6	-0.1
30～34	98,062	97.3	107,749	97.7	0.4
35～39	91,769	97.6	95,449	97.9	0.3
40～44	94,995	97.7	89,230	97.9	0.2
45～49	112,611	97.4	92,279	97.7	0.3
50～54	121,865	96.8	108,706	97.0	0.2
55～59	98,272	94.5	115,480	95.1	0.6
60～64	61,713	70.5	72,968	72.7	2.2
65歳以上	75,420	36.3	83,582	33.9	-2.4
女	616,784	48.7	619,599	48.6	-0.1
15～19歳	13,634	15.0	12,969	16.9	1.9
20～24	65,915	71.8	56,424	71.3	-0.5
25～29	73,027	68.8	64,369	73.1	4.3
30～34	52,566	55.7	64,755	62.3	6.6
35～39	53,951	59.9	58,685	63.1	3.2
40～44	64,234	68.6	62,561	70.4	1.8
45～49	79,699	71.2	68,018	73.6	2.4
50～54	80,680	66.3	75,897	68.9	2.6
55～59	55,267	56.1	70,530	58.9	2.8
60～64	32,460	38.4	37,613	38.5	0.1
65歳以上	45,351	16.0	47,778	14.7	-1.3